

令和4年度

北海道教育大学

附属函館幼稚園だより

NO. 12【号】



## ウサギ干支，何を実らせることが出来るかな？

副園長 藤谷 毅

明けましておめでとうございます。松の内は過ぎましたが、新年のご挨拶を申し上げます。令和5年が園児たちにとって、また保護者の皆さんにとって、さらには本幼稚園の教職員にとって、幸多い1年間となりますように心よりお祈り申し上げます。

さて、今日から3学期がスタートしました。年を越して会った子供達は、年末年始の家のお手伝いや、お正月などの楽しいイベント、そして、初めて体験する遊びや文化等と出会って、一回りも二回りも大きく、たくましくなっているように感じられます。これもひとえに冬休み中、特にご多用な年末年始を、暖かい眼差しの家庭の中で健やかに育てていただき、本日、笑顔で元気な園児を幼稚園に送り出していただいた、保護者の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

2023年は「癸卯(みずのと・う)」となります。「癸」が持つのは十干(じっかん)の第10位であり、物事の終わり始まりを意味する他、「揆(はかる)」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だと言われています。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるとされています。

この2つの組み合わせである癸卯には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているといわれています。

3学期は、子供達のこれまでの頑張りを認め、新たなステージへと進むことが出来るよう、さらに頑張る学期になるようにしたいと考えております。

さあ、本日から始まる3学期はとても短い学期です。卒園式は3月18日(土)、修了式は3月23日(木)ですから、あと約2ヶ月です。その中で、ゆき組さんは、小学生への準備が着々と進めています。つき組さん・はな組さんも、進級して頼れる立派なお兄さん・お姉さんになる準備をスタートします。3学期は一日一日を大切にすると共に、雪遊びやスキー遊び、豆まき会やお別れ会等の多様な体験や多くの行事が、そんな子供達の心と体の準備の完成を後押ししてくれるでしょう。今年1年、新型コロナウイルスに負けず、子供達の可能性を引き出せるよう心を引き締めてスタートしたいと思っております。今後ともどうぞ、附属函館幼稚園をよろしく願いいたします！

御礼

2学期にお願いしておりました幼稚園評価へのご協力ありがとうございました。結果につきましては後日整理をしまとめてを配布いたしたいと思っております。